



《笑顔でチャレンジ！》

# 学校だより

上越市立下黒川小学校

第 6 号

令和2年9月15日発行

Tel.536-2467 FAX 536-6506

## 学校評価 1学期の取組から

校長 遠藤 俊幸

保護者の皆様には、教育活動に関するアンケート調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。児童と保護者のアンケート調査の結果をもとに、これまでの教育活動や子どもの成長等について振り返りました。以下に、アンケート結果並びに今後の方針等についてお示しします。



### みとめあう ～かかわりを楽しむ子～

達成目標	達成状況
①「進んであいさつをした」児童 90%以上	児童 91.5% (保護者 91.3%)
②「わくわく(いろいろな)活動を通じ、進んで人とかかわった」児童 90%以上	児童 94.3% (保護者 89.9%)
③「進んで手伝ったり、困っている人に声をかけたりした」児童 80%以上	児童 82.8% (保護者 50.0%)

- ・あいさつについては高評価でした。一方で、全体的にあいさつがやや受け身であるという意見もありました。普段からあいさつをする人や機会も少ないため、多くの人とあいさつを交わし合う機会を意図的に設定したり、児童主体の取組を行い自分たちの課題として捉えたりすることが必要です。「あいさつ1000人大運動」「あいさつ広げ隊運動」等を通して、地域の人や来校者の方々にも進んであいさつができるように意識を高めていきます。
- ・1学期は行事の中止や制限のある中での活動となりましたが、人とかかわる活動の意義を吟味して取り組んできたことが肯定的評価につながったと考えます。引き続き、状況や意義を考えて活動に取り組んでいきます。人とのかかわりによって成長している姿を学年だより等でお伝えしていきます。
- ・児童と保護者のアンケート結果に約30%の差がありますが、学校では自分に与えられた役割を果たす、仲間同士で助け合う等の姿がよく見られました。児童の実態をたより等で伝えたり、長期休業以外でも家族の一員として取り組める仕事を宿題(家庭科、生活科、社会科等)として出したりしていきます。



### まなびあう ～学びを楽しむ子～

達成目標	達成状況
①「『知りたい・調べたい』と進んで学習に取り組んでいる」児童 85%以上	児童 85.7% (保護者 71.0%)
②「分かったことを友達や家の人に伝えた」児童 85%以上	児童 90.0% (保護者 85.5%)
③「授業が分かる」児童 90%以上	児童 91.4% (保護者 79.5%)
④「本を読んだり本で調べたりするのは好きだ」児童 80%以上	児童 78.6% (保護者 60.9%)
⑤「進んで家庭学習に取り組んだ」児童 80%以上	児童 90.0% (保護者 68.1%)

- ・1学期は臨時休校や授業を進める上で制限があるなど特別な状況にありましたが、概ね順調に進めることができました。数値がやや低い評価については、「学習内容を終わらせなくては」という教師の焦りや一斉教授型の授業形態が影響しているのではないかと考えます。
- ・2学期は、わくわく活動や各種行事が順調に行われることで成果が期待できると考えます。他教科においても児童が「知りたい」と思うような課題の工夫を継続していきます。
- ・家庭学習については、保護者の方の肯定的評価が低い結果でした。今後も着実な家庭学習習慣定着のために、学校では、児童の頑張りをほめることで意欲を高めたいと考えています。ご家庭でも引き続き温かい声掛けをよろしくお願ひします。



## きたえあう ～運動を楽しむ子～

達成目標	達成状況
①「めあてに向かって進んで運動に取り組んだ」児童 90%以上	児童 91.4%（保護者 78.3%）
②「安全や健康に気を付けて生活した」児童 85%以上	児童 95.7%（保護者 92.7%）
③「家庭で決めたメディアのルールを守った」児童 80%以上	児童 91.4%（保護者 82.6%）
④「給食で苦手なものを残さず食べることができた」児童 80%以上	児童 75.7%（保護者 59.4%）

- ・ 1学期は運動会、水泳学習等が中止となり充実した運動機会が設定できませんでした。2学期はダンスフェスティバル、下小五輪フェスタ、器械運動強化月間を予定しています。児童の目標と評価を掲示するなど可視化し、取組の強化週間を設定して意識を高めていきます。
- ・ 感染症対策、熱中症対策、日ごろの健康管理をしっかりと行い、適切に対応してきました。全体的に廊下を走る児童が多く見られ、怪我につながる危険性が高いです。今後も安全面や遊具の正しい使い方等を含め指導を継続していきます。
- ・ メディアへの取組は、児童と保護者の認識に差がみられますが、例年よりも意識が高くなってきています。各家庭の取組の成果と受け止めています。3学期には、情報モラルに関する学習会（講演等）を計画しています。
- ・ 給食については、児童の意識が昨年（81.6%）よりも低い結果でした。自分に合った量を残さず食べる、好き嫌いをしないで食べるように働きかける等の指導が必要です。食育に関する学級指導を栄養教諭が中心となり行っていきます。また、残さないで食べたという実感をもてるように、配膳時に量の加減をするなど工夫していきます。

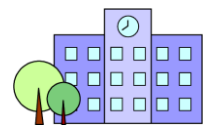
学校運営に関する項目や教職員の児童・保護者への適切な対応等に関する項目については、保護者の皆様から高い評価（94.2%）を得ることができました。引き続き一人ひとりへの適切な見取りや対応を大切にしながら教育活動を推進してまいります。

また、アンケートには保護者の皆様よりたくさんのご意見やご感想をお寄せいただきました。その中で、特に以下のことについて改善してまいります。

○授業づくりでは、一人ひとりの児童ができた喜びや学ぶ楽しさを実感できるよう授業改善に努めてまいります。

○児童が安心、安全に学校生活が送れるように、学級づくりを中心に一層努めてまいります。

\*学校へのご意見やご質問等がありましたら、いつでも学校までお知らせください。今後ともよろしくお願いいたします。



## スクール・サポート・スタッフを紹介します

9月14日（月）から下黒川小学校のスクール・サポート・スタッフとして、新たに職員が着任しました。紹介します。

スクール・サポート・スタッフ 中村 太河（なかむら たいが）

はじめまして。とても緊張していますが、できる限り子どもたちの顔と名前を覚えられるように頑張ります。体を動かすことが趣味ですので、子どもたちと一緒に運動することでコミュニケーションをとっていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。